

祝辞

卒業生の皆さま、本日はご卒業おめでとうございます。

そして、保護者の皆さまにも心よりお祝いを申し上げます。

卒業される皆さんに、私は特別な親近感があります。と言うのも皆さんが入学された年に私は同窓会長になったのです。皆さんは入学の時どんな夢や希望、期待を持っていたか覚えていますか。私は就任後にやりたいことが沢山ありました。しかし、予定が中止になったり変則的な形になったり、この三年間はコロナに振り回された期間でした。

昨年、ぎんが祭の役員の方が同窓会館に挨拶に来てくれたとき「今まで経験できなかった一般公開の準備は知らないことばかりで大変ね」と話しかけると「この状況が当たり前なので、自分たちで考えて新しく作っていきます」と即座に予想外の力強い答えが返ってきました。若い方の発想に感動し私も考え方を変えなければいけない、と自戒しました。ぎんが祭や様々な行事が思うようにできない等、悔しい思いも沢山あったと思いますが、それを乗り越えて高校時代を過ごした皆さんは社会に出ても前向きでしっかり自分の道を進んでくれると信じています。

さて、卒業生の皆さんは、卒業と同時にいよいよ同窓会への仲間入りをする事になります。同窓会は母校の教育環境整備、生徒会や生徒の皆さんへの助成、そして会員相互の親睦や地域貢献を目的として活動しています。今日持ち帰られる卒業証書ファイルは同窓会からのささやかなお祝いです。また、卒業後30周年・40周年(還暦)・50周年の時には恩師を交えた学年全体の同期会が行われます。久しぶりの再会、交流を楽しみにしててください。同窓会の活動は、ホームページ・フェイスブック等を通じて発信してまいりますので、ぜひご覧ください。これからは皆さんも母校・在校生のために応援する立場になりますのでご協力をよろしく願います。そして学校の隣にある同窓会館にもぜひお立ち寄りください。

新しい世界へとはばたく皆さん、この三年間を乗り越えた皆さんには何事にも立ち向かっていく力があります。そして皆さんのまわりにはご家族お友達等、支え応援してくれる多くの方がいらつしやいます。安心して踏み出してください。私たち同窓会も皆さんに祝福をおくり、輝く未来と幸せを願い心から応援したいと思います。

同窓生を代表しましてお祝いを申し上げ、祝辞とさせていただきます。

本日は、誠におめでとunggございました。

令和五年三月三日

長野県松本蟻ヶ崎高等学校同窓会

会長 和合直子